

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 フローレンスジョジョ（放課後等デイサービス）

公表日 令和7年 3月 5日

利用児童数 12名

回収数 11

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11				広々としたスペースが確保されている	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1				
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	2	1	2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	5	2	特に必要としていない	
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	1	1		説明はないが、内容をみればわかる	時間を設けて、説明をしていきたいと思います
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3	4	1	今後、あれば参加したい	検討していきます お子様のことに関しては、ご家族様には及びません。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1	2		話をよく聞いてくださり、助かっている	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11				話をよく聞いてくださり、助かっている	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		3	5	2	必要ないと思う	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	2			スケジュール変更など適切に対応してくれている	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	3		3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1	1	4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11				安心して過ごせていると思う ありがとうございます	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11				とても楽しみにしている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				いつも、ありがとうございます	こちらこそ、ありがとうございます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7年 3月 5日			
フロレンスジョジョ（放課後等デイサービス）					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		・1人当たりのスペースを確保するために、人数や予定を調節し、十分な広さを確保しています	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		・法令で必要とされている人数のスタッフを確保しています	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		・部屋は明るく、季節にあった装飾をしています ・駐車場から玄関はつながるスロープや車椅子対応のトイレを備えています	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・こまめに掃除を行っています ・利用者様に応じて、ベッドやマットを用意しています	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		・個室は3部屋あり、必要時に使用しています	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		・日々、職員間で情報共有を行っています ・事業所の運営についても職員間で意見を募り、業務改善につなげています	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・事業所の評価をうけて、業務改善につなげています ・いつも貴重なご意見をありがとうございます	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・事業所の運営についても職員間で意見を募り、業務改善につなげています	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10	・第三者評価は行っていないが、医師や相談員さん等よりジョジョは利用希望者が多いや丁寧なケアをしていると言われています	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・毎月、研修を行っており、外部講師を招くこともあります ・大学での医療ケア児の研修にも参加しています	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		・現在、公表に向けて、支援プログラムを作成しています	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		・日々のかかわりのなかで、得られた情報をアセスメントし、計画を作成しています	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・児童発達支援管理者を中心にして、全スタッフと支援会議を行っています	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・計画に沿った支援を行っています	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		・アセスメントシートを用いて行っています	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		・計画にはガイドラインに則って、支援内容を作成しています ・「地域支援・地域連携」は重症心身障がい児のため難しいところがあります	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		・重症心身障がい児を対象としているため難しいところがあります	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		10	・重症心身障がい児を対象としているため難しいところがあります	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		・重症心身障がい児を対象としているため難しいところがあります	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		・サービス開始前に打ち合わせを行っています ・ご家庭からの情報も大事にし、子どもが安心して過ごせるように情報共有を行っています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		・サービス終了時には気づいたこと等話し合い、情報共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		・サービス提供記録には計画とリンクした内容となるように、記載している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		・モニタリングにて、計画の見直しと修正を行っています ・対面や書面により情報交換を行っています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10		・重症心身障がい児を対象としているため難しいところがありますが、支援計画の中に取り入れています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		・重症心身障がい児を対象としているため難しいところがありますが、選択肢の提示を行いながらケアを行っています	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		・対面、電話、書面にて行っています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		・主治医をはじめ、地域の医師の方や学校等の関係機関と連携し、支援をしています	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		・学校への送迎時に情報の共有を図っています。また、学校行事の際の協力も行っています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		・重心児のため保育園等の受け入れ先が少なく、利用していないケースがあります	・今後、必要時は行っていく予定です
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		・学校での移行支援会議にて行っています ・今のところ、障害福祉サービス(生活介護)も受けています	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10		・助言を受けることはないが、保育所勤務の看護師より研修の希望があり受け入れています	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10		・職員の子どもによる子どもボランティアがあります	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10		・重症心身障がい児を対象としているため難しいところがあります	・今後、必要時は行っていく予定です
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10		・保護者とのやり取りは密に行っています ・送迎時や面談時にこどもについて、気になること等を確認して、情報共有しています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		・オムツ・ポジショニング等の研修会がある際に案内しています	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		・契約時に書面を用いて行っています ・変更等があった際にも、書面等を用いて速やかに保護者の方に説明を行っています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		・送迎時や面談時に保護者の思いや意向を確認しています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		・初回は対面にて説明を行っています ・個別支援計画の定期的な評価・修正時に、内容を説明し、保護者の同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・行っています	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10	・希望があれば行いますが、現在のところ希望が無いため、行っていません	希望があれば対応しますが、ご家族からのご希望が現在の所ありません
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	・LINEにて行っています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	・保護者の方へ説明すべきことが発生した際には速やかに保護者の方に直接連絡を取っています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	・個人情報の取り扱いには十分に注意しています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	・お子様とは声掛けを密に行ったり、おもちゃ等を使って、コミュニケーションを図っています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	・研修の案内を出し、研修に参加してもらっています ・勉強会に近隣住民を招待したことがあります	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	・防犯マニュアル以外のマニュアルは策定し、適宜見直しと訓練を行っています	・防犯マニュアルの作成を検討します
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	・業務継続計画を策定し、定期的に見直しと訓練を行っています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	・保護者と気になること等を確認して観察やサービスを提供しています ・てんかんについては記録し、保護者と情報共有しています	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	・保護者からの情報を基に対応しています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	・安全計画を作成し、定期定期に訓練を行っています	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	・速やかに対応できるように対策は立案されています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	・ひやりやはっとした際には、ヒヤリハット報告書を作成しています ・ヒヤリハットの対策を立て、スタッフ間にて情報共有を行っています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	・虐待防止委員会を4回/年実施しています ・スタッフはチェックリストにて自身の行動を振り返り、虐待防止につなげています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	・身体拘束の対象者はいません。 ・定期的に虐待・身体拘束委員会を行っています	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フローレンス ジョジョ (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 10日 ~ 令和7年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 10日 ~ 令和7年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・重症心身障がい児の方も、入浴ができる	・スタッフのほとんどが看護師であるため、呼吸器の使用や気管切開の方でも入浴できる。 ・機械浴ができるため、自力での座位ができない方でも安全に入浴ができる。	
2	・看護師が多いため、医療依存度が高くても対応でき、体調不良時も対応できる。	・スタッフは看護師が多い。 ・他者への感染しない体調不良や点滴ルートがあっても、ご利用できる。 ・感染症疑いの時は、個室対応している。	
3	・生活介護もあるため、卒業後もご利用いただける。	・生活介護では放課後等デイサービスでの関わりのあったスタッフがいため、継続したケアを受けることができる。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・受け入れ人数に制限があり、利用されたい方すべてを受け入れることができない。	・人員不足。	・法律や制度の人数配置基準の緩和がされると良い。
2	・送迎は2人しか乗れない。さらに、看護師が同乗しなくてはならないため、希望者全員の送迎が困難である。	・人員不足。	・法律や制度の人数配置基準の緩和がされると良い。
3			